

「未来共創イノベーション活動支援」平成 29 年度採択企画  
「共生人材育成エコシステムの構築」

終了報告書

2020 年 5 月 29 日

徳山工業高等専門学校

## 目 次

1. 概要	
1-1. 企画名称	1
1-2. 提案機関	1
1-3. 企画担当者	1
1-4. 企画の実施期間	1
1-5. 企画概要	1
1-6. 活動のビジョンとその背景にある問題意識	1
1-7. 具体的な成果(企画提案時)	2
1-8. 目標	2
1-8-1. 長期目標	2
1-8-2. 年度目標	3
(1)平成 29 年度年度目標	3
(2)平成 30 年度年度目標	3
(3)平成 31 年度年度目標	3
1-9. 実施体制	3
2. 企画の達成状況	5
3. 活動実績	10
4. ネットワークの状況	19
5. 成果及び波及効果	20
6. 外部評価	22
7. 支援終了後の活動(継続・発展)など	22
8. 資料編	24
資料1:活動一覧	24
資料2:参加機関一覧	33
資料3:委員会等	35
資料4:外部評価委員	35
資料5:外部発表等	36
資料6:成果資料等	36
資料7:その他資料	37

## 1. 概要

### 1-1. 企画名称

共生人材育成エコシステムの構築

### 1-2. 提案機関

独立行政法人 国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校

### 1-3. 企画担当者

提案機関業務主担当者： 三浦 靖一郎

提案機関業務副担当者： 谷本 圭司

### 1-4. 企画の実施期間

平成 29 年 7 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

### 1-5. 企画概要

これまで十分に社会参加できる環境になかった障害者等が積極的に参加・貢献できる共生社会の実現は、障害者権利条約の効力が発生した日本をはじめ世界の課題である。障害者雇用の実績を持つ特例子会社や社会福祉法人、早期技術者教育機関の国立高専を中心とした産学官福連携により科学技術の立場からこの課題にアプローチする。具体的には、①特例子会社—高専連携による誰にでも地球にも優しい技術者育成プログラムの開発・実践、②多様な特性を持つ若者向け個別ものづくり体験実習の企画・実践、③取り組み成果や特例子会社・障害者スポーツ・支援技術等の紹介を通して国民にこれらの知見を還元し、共生社会実現のための人材育成エコシステムモデルの構築を目指す。

この活動では、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあい、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型である「共生社会の実現」は、国連や内閣府が推進している取り組みである。共生社会実現のためには、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができるハード面・ソフト面での環境整備や支援技術の発展、それらを可能にする障害に理解を持つ人材育成が不可欠である。そこで、障害者雇用に関する日本の特徴的な制度である特例子会社、障害者支援に50年以上の実績を持つ社会福祉法人、技術者育成機関である国立高等専門学校(高専)を中心として、障害者をはじめとした多様な人々の就労支援技術について研究を行っている日本設備管理学会・就労支援技術研究会、地方行政機関である市役所、義務教育機関である中学校といった社会資源を凝縮した産学官福連携により、それぞれが得意とする点を役割分担(シェアリング)することで、障害への理解者の増大、障害への理解を持つ技術者の育成を核として細分化・分業化された地域社会をつなぐ、共生社会の実現に向けた人材育成エコシステムの構築を目指す。

### 1-6. 活動のビジョンとその背景にある問題意識

この活動では、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあい、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型である「共生社会の実現」は、国連や内閣府が推進している取り組みである。共生社会実現のためには、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができるハード面・ソフト面での環境整備や支援技術の発展、それらを可能にする障害に理解を持つ人材育成が不可欠である。

そこで、障害者雇用に関する日本の特徴的な制度である特例子会社、障害者支援に 50 年以上の実績を持つ社会福祉法人、技術者育成機関である国立高等専門学校(高専)を中心として、障害者をはじめとした多様な人々の就労支援技術について研究を行っている日本設備管理学会・就労支援技術研究会、地方行政機関である市役所、義務教育機関である中学校といった社会資源を凝縮した産学官福連携により、それぞれが得意とする点を役割分担(シェアリング)することで、障害への理解者の増大、障害への理解を持つ技術者の育成を核として細分化・分業化された地域社会をつなぐ、共生社会の実現に向けた人材育成エコシステムの構築を目指す。

#### 1-7. 具体的な成果(企画提案時)

持続可能な人材育成エコシステムの構築を目指して、この活動では企画概要で述べた3項目について取り組む。まず、①産学官福連携による技術者育成プログラム開発については、長期休業中のインターンシップであるため、すべての教育機関において既存のカリキュラムを変更することがなく実施可能である。特例子会社が持つ独自の資源を人材育成に活用することで、障害に対する理解を持つ人材の増加が期待できる。高等教育機関における工学系学生のうち、高等専門学校の学生が占める割合は 15%程度あるため、高等専門学校の学生の意識の変化は他の大学生にも波及する可能性がある。

次に、②産学官福連携による多様な特性を持つ若者向け個別ものづくり体験実習の企画・実践は、多様な特性を持つ若者を就労へとつなげるために必要な取り組みである。具体的には、若者の就労支援を行うために、支援者や専門家が協働して多様な仕事内容や就労に必要な研修や面談を含めた体験実習プログラムの開発に取り組む。この取り組みにより、通常では一般就労が困難と思われる若者に対して、就労に必要な能力や環境に関する知見の蓄積ができるだけでなく、1人でも多くの若者が就労することが期待できる。

③①、②の取り組みや成果および特例子会社・障害者スポーツ・支援技術等を紹介することで、親会社や特例子会社の知名度や会社価値の向上につながり、会社ホームページ閲覧者や会社見学者の増加が見込め、さらに知名度が向上するというスパイラルアップが期待できる。それにより、国民の障害に対する理解が深まることを期待できる。

①から③の活動で得られた情報をもとに、地域社会の各関係者の情報や課題を顕在化させ、障害者雇用に必要な環境整備や支援技術について互いに共有することを目的とした④障害者就労と科学技術に関するワークショップ・カフェを実施することで、社会資源を考慮した福産学連携による障害者雇用に関する「地の拠点」「知の拠点」づくりにつながることが期待できる。また、支援技術に理解のある学生ファシリテータを育成することで、共生社会を支える技術者の育成につながることが期待できる。

#### 1-8. 目標

##### 1-8-1. 長期目標

既存の社会資源を活用して共生社会実現に向けた持続可能な人材育成エコシステムを構築することが最終目標である。この活動のミッション、バリュー、ビジョンを以下に示す。

##### ○ミッション(使命)

共生社会の実現に向けて、誰にでも地球にも優しい技術者人材の育成と就労支援技術の開発を進める。

##### ○バリュー(共有する価値観)

誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合い、積極的に参加・貢献できる社会を共に追求する。

## ○ビジョン（目指すべき姿）

生徒・学生・国民に職業体験の場や創造の場を増やす，治工具や就労支援技術の開発を通して，障害に理解のある人や障害者の就労環境改善に関する知見を増やす，ダイバーシティ&インクルージョンの理解，地域資源の再発見と異業種連携によるシェアリングを推進する。

この活動をミッション，バリュー，ビジョンのもとに継続していくことで，取り組み成果の社会還元（人材育成・ノウハウ普及），福祉作業所他の就労環境改善，障害者の職域・雇用拡大（高齢者への応用），治具開発，人材研修他などによる事業収益モデルの構築，障害に理解のある人材育成に関わる政策の提言へと発展させることで，今以上のインクルーシブ社会の充実を長期目標とする。

### 1-8-2. 年度目標

各年度の目標を以下に記す。

#### (1)平成 29 年度年度目標

- ①技術者育成機関である高等専門学校の学生がダイバーシティ&インクルージョンの現場である特例子会社でインターンシップを行い，現場技術者と接することで障害に理解を持つ優しい技術者の育成を目指す。
- ②発達障害傾向を含む多様な特性を持つ若者向けものづくり体験実習を提供し，若者の自己理解や就労意識の向上につとめることを目指す。今年度は，実習期間 1 週間程度のプレ版を企画・実施し，その評価を行う。
- ③①インターンシップ・プログラム開発，②ものづくり体験実習，特例子会社の紹介などを，報告会や研究会などを通して行う。国民参加型のパネルディスカッションやシンポジウムを行い，意見交換ができる場を提供する。

#### (2)平成 30 年度年度目標

- ①地域社会の各関係者の課題を共有する場として，社会資源を考慮した福産学連携による障害者雇用に関する「地の拠点」「知の拠点」づくりに向けて，障害者雇用に関する各関係者の課題を顕在化させること，障害者雇用に必要な環境整備や支援技術について互いに共有することを目的として，障害者就労と科学技術に関するワークショップを実施し，地域に必要な連携や情報共有の形についてまとめる。

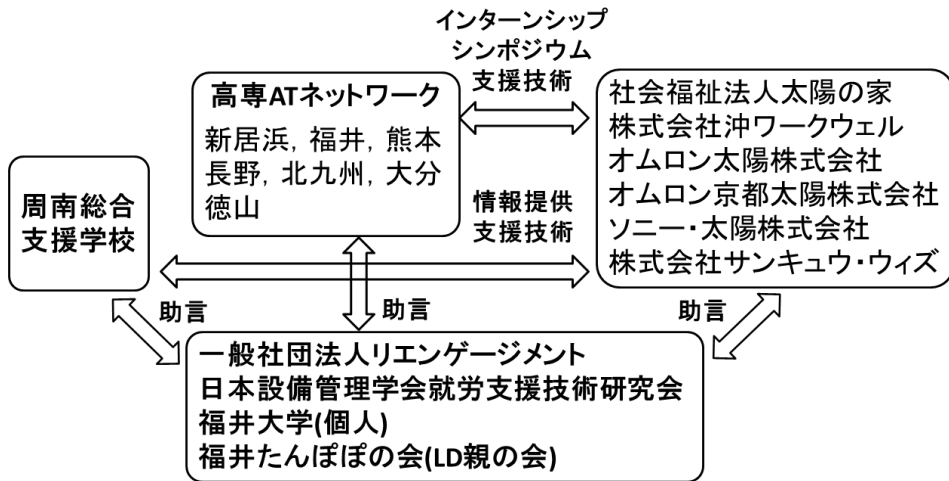
#### (3)平成 31 年度年度目標

- ①市民や地域資源の各関係者に対して，障害者就労や支援技術に関する啓蒙・普及を継続するカフェやワークショップを実施し，ネットワーキングや情報共有の場を提供する。
- ②市民に支援技術を広める学生ファシリテータの育成を目指す。
- ③周南地域の障害者就労や科学技術に関する「地の拠点」「知の拠点」設立宣言とその整備を行う。

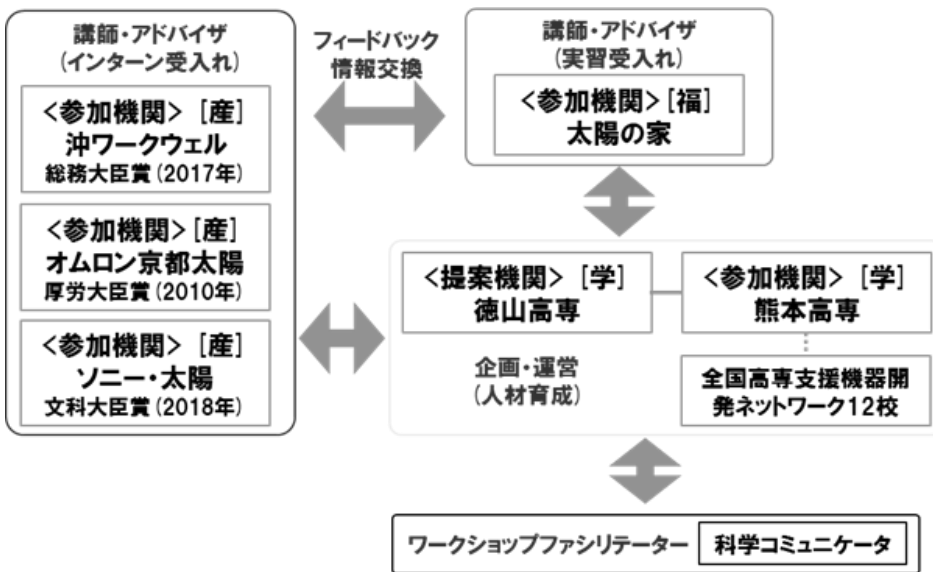
### 1-9. 実施体制

それぞれの年度の実施体制を，以下に記載する。

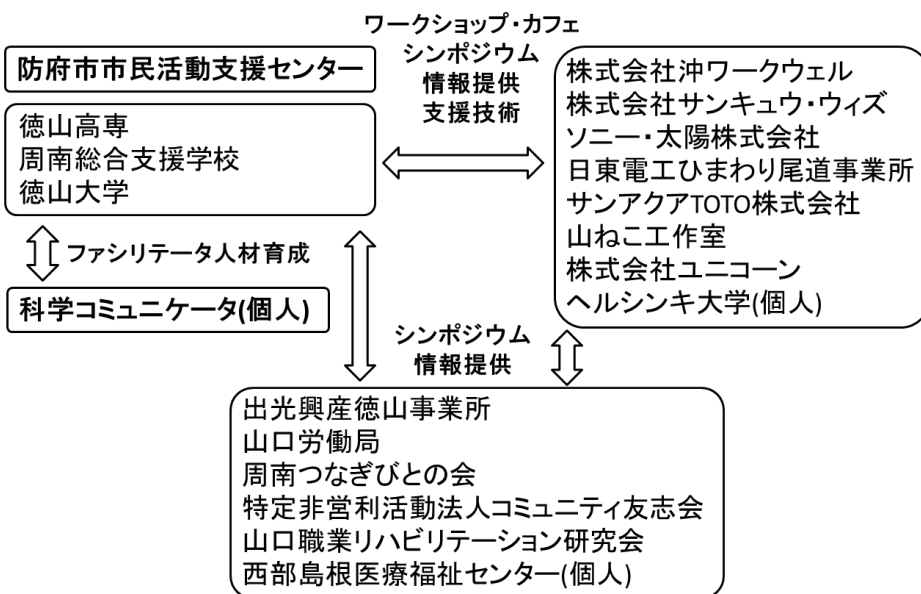
#### (1)平成 29 年度の実施体制



(2) 平成 30 年度の実施体制



(3) 平成 31 年度の実施体制



## 2. 企画の達成状況

目標に対応した達成状況をいかに記す。

### ①特例子会社－高専連携によるインターンシップ・プログラムの開発・実践

支援機器開発に必要なアセスメントや手法を学ぶため、特例子会社－高専連携によるインターンシップ・プログラムを開発・実践した。このプログラムは、長期休業中に実施するため、すべての教育機関において既存のカリキュラムを変更することがなく実施可能であることを想定していたが、今回初めて特例子会社でのインターンシップ・プログラムに参加した新居浜高専や長野高専などの学生の様子や企業の評価から、それを確認することができた。また、日本福祉工学会九州支部大会 2017 でインターンシップ・プログラムの効果について発表し、論文講演優秀賞を受賞したことで、福祉系関係者や医療従事者にも特例子会社の持つ多様な価値に気づいてもらうことができたと考えている。また、過去のインターンシップ・プログラムに参加した学生の報告により、福井高専電子情報工学科 2 年生による特例子会社見学が実現した。引率教員から特例子会社見学は学生にとって有意義であるという報告がなされた。このことから、高専教員も特例子会社が持つ多様な価値を認識しているといえる。会社見学はインターンシップ・プログラムと比べて会社側も学校側も負担が少ないことから、この事例をもとに他高専にも広げていく予定である。

また、インターンシップ・プログラムを実施したいが、会社の事情や学生とのマッチングの問題で実現していない例(富士ソフト企画、サンキュウ・ウィズ、ホンダ太陽など)もある。今後は、1 つでも多くのプログラムが成立するようなくみづくりを関係者と情報共有しながら引き続き検討していく。

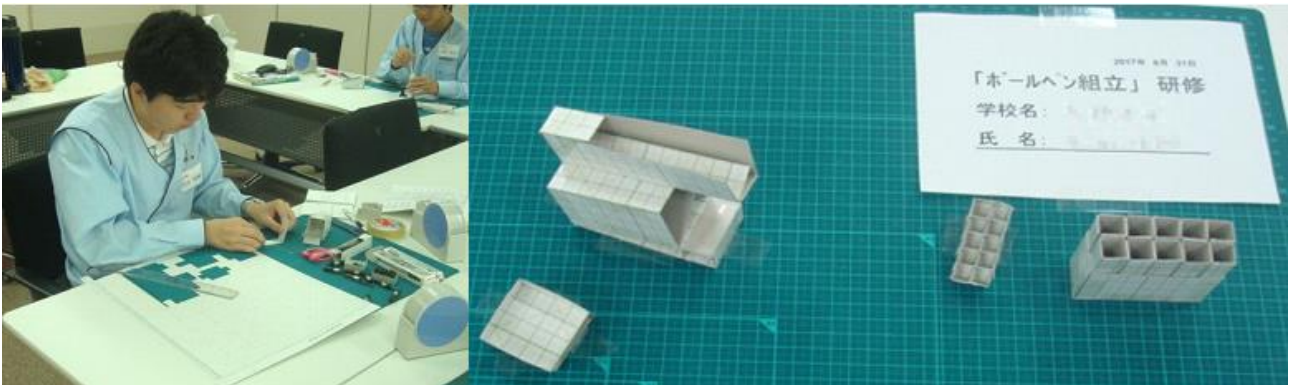


図. ソニー・太陽におけるインターンシップ・プログラムの様子

### ②産学官福連携による多様な特性を持つ若者向け個別ものづくり体験実習の企画・実践

多様な特性を持つ若者を就労へとつなげるために必要な取り組みであった。当初、若者の就労支援を行うために、支援者や専門家が協働して多様な仕事内容や就労に必要な研修や面談を含めた体験実習プログラムを開発に取り組んだ。この取り組みにより、通常では一般就労が困難と思われる若者に対して、自己分析や司法面接的手法を用いて体験実習することで、若者に就労に必要な能力や環境に関する知見を与えることができ、若者を指導する教職員に若者の特性を理解してもらうことができた。さらに、教育関係者と福祉関係者の立場で若者の特性やそれに合う就労を考える機会を提供できた。ものづくり実習に参加した就職試験合格が不安視されていた参加生徒 2 名(県立工業高校 3 年生)は、実習後に就職試験を受けて 2 名とも合格したことで、実習は一定の効果があったといえる。今後の定着状況について見守り方法の検討や、高専学生の参加の実現に向けて検討したい。

### ③取り組みや成果および特例子会社 PR

本事業の活動の取り組みや成果、特例子会社、支援技術などを講演会・シンポジウム・学会などで紹介することで、それらに参加した福祉工学、福祉、医療、教育関係者に対して、特例子会社の存在とそこにある支援技術や働きやすい環境があることを知らせることができた。それにより、特例子会社や支援技術に関して講演や相談の依頼が増えた。しかし、一般向けに行ったみんなで作る共生社会シンポジウム(福井市、2018年1月)では参加者が少なかったことから、地方では共生社会や障害者就労、支援技術に関する市民の関心はまだまだ低いということがわかった。

#### 【記者後日談（抜粋）】

当日はいろいろと取材し、どれも興味深くて大切な取り組みだと感じたのですが、あれもこれも少しずつ触れて散漫な記事になるよりはポイントを絞ったほうが読者の関心を引くことができるだろうと判断し、在宅勤務の取り組みを中心に書かせて頂きました。

障害がある方々でもネットの技術を駆使することで、ここまで自由に働けることは福井ではまだあまり知られていません。福井県内の障害者、家族の皆さんに少しでも興味を持って読んで頂ければと思っています。これからも全国の高専ネットワークの中で生まれる研究、開発が共生社会に役立っていくことを願っております。



平成 29 年度の当初は、3 年間をかけて①～③を継続することで、①～③を精緻化する予定だったが、審査員から活動に対して助言を受け、「多様な立場のステークホルダーとの対話・協働による社会的課題解決」に対して「科学技術コミュニケーション活動で取り組むこと」を意識した活動を行うことにした。平成 30 年度からは、①～③の結果や課題を踏まえて、活動拠点を地域社会として、地域に根ざした活動にシフトすることになり、④障害者就労と科学技術に関するワークショップの企画・実施に取り組んだ。



図. ワークショップの様子(電子ブロックによる支援機器の作成)

その結果、「働く」「科学技術」をキーワードとして、地域の当事者、保護者、支援者、企業、教育、医療、福祉、行政関係者や市議会議員といった地域資源の多様なステークホルダーが集まり、ネットワーキングができたと同時に、それぞれの立場の「働く」「科学技術」に関する課題を共有することができた。これまで働けなかった重度障害者などが、支援技術や環境整備を行うことで働くことができることを、特例子会社関係者より事例が示されたことで、福祉と科学技術の関係や障害者就労や科学技術(支援技術)に関する参加者の理解度が向上した。しかし、多くの企業が立地する周南地域において、科学技術以前に障害者就労は法定雇用率を満たしている企業が少ないのが現状であり、引き続き啓蒙活動を行うことにした。

④平成 30 年度の間ヒアリングにより、審査員の方から「計画を再考し、活動が就労支援とならないよう留意し、今後の活動において科学技術コミュニケーションの要素を忘れずに取り入れてほしい」「障害者就労支援は社会的に重要なテーマであり精力的に取り組んでいることは理解できるが、科学技術コミュニケーションとなる科学技術が特定していない」という指摘を受けた。私たちの科学技術は「就労に関する支援技術(AT: Assistive Technology)」であり、単なる就労支援をするのではなく、これまで働けなかった人が科学技術(支援

技術)によって働けるようになることを特例子会社の障害者就労事例を通して、まずは技術者の卵に、技術者を育成する教職員に、そして、社会資源のステークホルダーに知ってもらうことで、支援技術とそれによる障害者就労への理解促進を図ることがこの活動の目的である。

また、「支援機器の技術の体系化が成果として必要である」とも指摘を受けているが、私たちは、本事業の活動をはじめる前に、オムロン京都太陽株式会社で40年を超えて開発された治具500個の設計図をもとに、オムロン京都株式会社、オムロン株式会社(本社)、徳山高専、福井高専の共同研究として、類推される障害種別、材料、動作原理、動力源など、複数の視点から分析した結果、共同研究の成果報告や卒業研究で報告しており、それらの成果として、オムロン京都太陽株式会社の治具データベースの構築に至っている。このデータベースの利用権限はオムロン京都太陽株式会社が持っており、その利用方法については、治具開発をする技術者の参考として使われている。また、治具分類の結果の一部を福祉工学、福祉、医療関係者に知ってもらうために、本事業初年度に日本福祉工学会九州支部大会で発表している。

さらに、インターンシップ・プログラムによる治具開発の手順・手法についても、日本設備管理学会にて発表し、本事業初年度に開催したシンポジウムで治具開発に携わった複数名の学生がその手順例を発表をしている。これらの経験で得られたノウハウを踏まえ、同じ障害種別でも程度が様々なこと、製品や業務に多様性があることなどが原因で、その都度利用者にアセスメントをして会社の環境にあったものを選択してつくる以外に方法はない。そのため、治具開発で重要なことは、利用者の状況や業務内容を知るアセスメントであり、アセスメントと安全性を考慮して全体像を構想し、機構、動力源、材料などを決めていくという手順に基づいて開発するのが一般的な手順である。このノウハウがないと、支援機器に興味を持った企業のニーズに答えることは難しい。さらに、この手順は、治具開発だけでなく利用者の環境整備にも役立つため、「技術に理解があり人にアセスメントができる人材の育成」つまり、「共生社会を支える技術者の育成」が私たちの長期的なミッションの1つである。

平成30年度の活動報告において、審査委員から「参加者に応じた配慮やニーズにあわせた取組みはわかるが、「業務に人をつける」アプローチ(ユニバーサルデザイン的アプローチ)と「人に業務をつける」アプローチ(インクルーシブデザイン的アプローチ)はどちらかに絞った方が良いのではないか。」とのアドバイスを受けた。この件について、実際にワークショップ講師として支援技術を用いた障害者就労事例を市民に紹介した特例子会社関係者に意見を聞いたところ、結局は、会社の風土やそのときの経営事情により左右されるためどちらがよいとは一概に言えず、目的を達成する方法を選べばよいという結論であった。それよりも、オムロンだからソニーだからできるというものではなく、工夫やアイデアで環境改善や治具開発ができるので、障害の有無に関わらず改善提案ができる人を社内に増やすことが重要との意見をいただいた。

ところで、平成30年度は、目標である「地の拠点」「知の拠点」のメインプレイヤーの決定まではたどり着かなかった。また、地域の障害者就労に関する有効な情報共有手段の検討と確立という課題もでてきた。これについては、メインプレイヤー決定後にプレイヤー間で課題解決に向けて話し合うことにした。

これらを踏まえ、平成31年度は、⑤障害者就労と科学技術に関するカフェ・ワークショップの企画・実施、⑥市民に支援技術を広める学生ファシリテータの育成、⑦周南地域の障害者就労や科学技術に関する「地の拠点」「知の拠点」設立宣言とその整備の3点について取り組んだ。その結果を以下に示す。

#### ⑤障害者就労や支援技術に関する啓蒙・普及を継続するカフェやワークショップの実施

多様なステークホルダーに支援技術を紹介したことで、参加者間の理解度が増えた。また、ワークショップで参加者間のネットワーキングを重視したことで、参加者間でのコミュニケーション、参加者が別の参加者を紹介、自発的な特例子会社見学の実施、といった、参加者の自発的な行動も生まれた。

また、平成 30 年度のワークショップ参加者から、支援機器としてスイッチ類・入力支援装置について取り上げてほしいという要望を受け、スイッチ類・入力支援装置を主としたワークショップ・カフェも開催した。その結果、スイッチ類・入力支援装置のワークショップ・カフェでは、教育、医療、福祉関係者の参加が多く、新しいネットワークが生まれた。



図. スイッチ支援機器製作セミナーの様子

#### ⑥市民に支援技術を広める学生ファシリテータの育成

支援技術に興味がある学生を対象に、科学コミュニケーターによるワークショップを受講してもらい、その後、受講したワークショップの種明かしを交えてその作り方の講習を受けることで、参加学生はワークショップ運営の要点を学ぶことができた。

#### ⑦周南地域の障害者就労や科学技術に関する「地の拠点」「知の拠点」設立宣言とその整備を行う。

これまでの相互の連携活動をベースに、山口県立周南総合支援学校、(私立)徳山大学、(国立)徳山高専の三者を核とした全国的にも珍しい地域共生社会の実現に向けた協定を締結する運びとなった(2020年2月13日予定)。この協定を「地の拠点」の初期の受け皿として考えており、知として集積化を図るために、支援技術の要素としてまずは多様なスイッチ類・入力支援装置を取り扱い、状況に応じて発展させていくリーンスタートアップモデルを採用する予定である。三者連携協定は、趣旨に賛同する団体は、三者の合意を得て協定に加わることができる発展型の協定となっている。

### 3. 活動実績

3カ年における活動の実績を、以下に年度毎に示す。

(1)平成29年度の活動一覧表

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	関係機関
2017/8/9	13:30-16:00	インターンシップ・プログラムの事前打ち合わせ	オムロン京都太陽株式会社	3名	★オムロン京都太陽 ★新居浜高専 ★福井高専
2017/8/9	13:30-17:30	ものづくり体験実習(プレ版)の打ち合わせ・特例子会社に関する講演	社会福祉法人太陽の家	9名	★徳山高専 ★太陽の家 ★太陽の家企業会
2017/8/21 - 2017/09/15	8:30-17:15	インターンシップ・プログラム	オムロン京都太陽株式会社	2名	★オムロン京都太陽 ★新居浜高専 ★福井高専
2017/8/21 - 2017/09/8	8:30-17:15	インターンシップ・プログラム	オムロン太陽株式会社	1名	★オムロン太陽 ★新居浜高専
2017/8/21 - 2017/08/25	8:30-17:15	ものづくり体験実習プログラム	社会福祉法人太陽の家 オムロン太陽株式会社 ソニー・太陽株式会社	講師1名 指導員4名 生徒3名 教員4名	★太陽の家 ★オムロン太陽 ★ソニー・太陽 大分県高校教員関係者
2017/8/21 2017/08/22	13:00-17:15 8:30-16:00	ものづくり体験実習プログラムの視察および高校教員向け相談業務	社会福祉法人太陽の家 オムロン太陽株式会社	3名	★太陽の家 ★オムロン太陽 ★徳山高専 ★福井高専
2017/8/25	10:00-15:30	特例子会社PRに関する講演および議論	明石工業高等専門学校	10名	★熊本高専 ★明石高専 徳山高専
2017/8/26	10:00-13:00	特例子会社PRに関する講演および議論	TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター 1C	8名	★日本設備管理学会就労支援技術研究会 徳山高専
2017/8/28 - 2017/09/1	8:30-17:15	インターンシップ・プログラム	ソニー・太陽株式会社	5名	★ソニー・太陽 ★長野高専 ★北九州高専

					★大分高専 ★徳山高専
2017/8/30	13:00-16:30	特例子会社 PR に関する講演および議論	名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール	10 名	★中部産業連盟 ★中日新聞社 徳山高専
2017/9/1	13:30-16:00	インターンシップ・プログラムの視察および学生面談	オムロン太陽株式会社	2 名	★オムロン太陽 ★新居浜高専
2017/9/1	13:30-17:30	インターンシップ・プログラムの報告会および今後の打ち合わせ	ソニー・太陽株式会社	12 名	★ソニー・太陽 ★長野高専 ★北九州高専 ★大分高専 ★徳山高専
2017/9/3	10:30-12:00	特例子会社 PR に関する講演および議論	放送大学福井学習センター	34 名	★放送大学福井 学習センター 福井高専 徳山高専
2017/9/7	14:00-17:00	インターンシップ・プログラムの視察および学生面談	オムロン京都太陽株式会社	4 名	★オムロン京都太陽 ★福井高専 就労支援技術研究会
2017/9/22	13:00-16:30	太陽の家・太陽の家企業会 PR に関する講演およびものづくり体験実習に関する打ち合わせ	徳山工業高等専門学校	102 名	徳山高専 ★太陽の家 ★太陽の家企業会
2017/10/22	13:00-17:00	インターンシップ報告会	徳山工業高等専門学校	44 名	★徳山高専
2017/10/1	16:15-17:45	特例子会社 PR および障害者就労に関する講演・議論	TKP 新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム 2B	3 名	★就労支援技術研究会
2017/10/6	10:00-12:00	インターンシップ報告会	新居浜工業高等専門学校	40 名	★新居浜高専
2017/10/8	9:30-12:00	特例子会社に関するパネルディスカッション(一般社団法人日本設備管理学会北	アオッサ福井 608 会議室 アオッサ福井・ハピリン福井	15 名	徳山高専 福井高専 ★日本設備管理学会北信越支部

		信越支部研究会) シンポジウム会場視 察			
2017/10/27	13:00-17:00	インターンシップ報告 会	福井工業高等専門学 校	43 名	★福井高専
2017/11/2	14:00-17:00	特例子会社見学	オムロン京都太陽株式 会社	45 名	★オムロン京都太 陽 ★福井高専
2017/11/4	9:30-17:00	ものづくり体験実習 に関する面接法の調 査	徳山大学 11号館 1141号教室	26 名	★徳山大学 ★日本語教育学 会中国支部 徳山高専
2017/11/5	13:30-16:30	特例子会社 PR に関 する講演および議論	株式会社サンキュウ・ ウィズ	7 名	★サンキュウ・ウィ ズ 徳山高専 ★就労支援技術 研究会
2017/11/11	14:30-15:30	特例子会社 PR に関 する講演および議論	長野工業高等専門学 校	25 名	★熊本高専 ★長野高専 徳山高専
2017/11/18	9:30-17:00	特例子会社 PR およ び特例子会社におけ る短期インターンシッ プ・プログラムの報告	北九州国際会議場	56 名	★日本福祉工学 会九州支部 徳山高専 福井高専
2017/11/20 2017/11/21 2017/11/22	16:00-17:30 10:30-12:00 14:00-16:00 11:30-13:00 13:30-15:45	シンポジウムの打ち 合わせ, ものづくり体 験実習に関する打ち 合わせおよび調査	沖ワークウェル株式会 社 一般社団法人リエンゲ ージメント 医療法人社団弘富会 神田東クリニック 株式会社サンキュウ・ ウィズ 富士ソフト企画株式会 社	1 名	沖ワークウェル リエンゲージメント 神田東クリニック サンキュウ・ウィズ 富士ソフト企画 ★徳山高専
2017/11/21 2017/11/22	14:00-16:30 10:00-16:00	ものづくり体験実習 に関する打ち合わせ および調査	医療法人社団弘富会 神田東クリニック 株式会社ゼネラルパー トナーズ/株式会社	2 名	★太陽の家 神田東クリニック ゼネラルパートナ ーズ

			KAIEN		KAIEN
2017/11/22	11:30-13:00 13:30-15:45	シンポジウムの打ち合わせ, ものづくり体験実習に関する打ち合わせおよび調査	株式会社サンキュウ・ウイズ 富士ソフト企画株式会社	2名	サンキュウ・ウイズ 富士ソフト企画 ★福井高専
2017/11/25 2017/11/26	9:30-17:30 9:30-16:30	ものづくり体験実習に関する調査 (ISO 内部監査員養成講習)	九州共立大学	6名	九州共立大学 ★徳山高専
2017/12/11	16:15-17:00	運営委員会準備会議	徳山工業高等専門学校	2名	★徳山高専
2017/12/22	13:00-14:00	運営委員会準備会議	徳山工業高等専門学校	2名	★徳山高専
2018/1/4	14:00-15:00	運営委員会準備会議	徳山工業高等専門学校	2名	★徳山高専
2018/1/5	13:30-15:00 16:30-1800	シンポジウムの打ち合わせ	ハピリン福井 福井工業高等専門学校	3名	★徳山高専 ★福井高専
2018/1/12	14:00-15:00	運営委員会	徳山工業高等専門学校	7名	★徳山高専
2018/1/18	13:15-14:00	シンポジウムの打ち合わせ	ハピリン福井	2名	★徳山高専 ★福井高専
2018/1/27	8:30-18:30	みんなで作る共生社会シンポジウム	ハピリン福井	約 60名	★福井高専 福井大学 全国 LD 親の会北陸支部 ★熊本高専 ★太陽の家 サンキュウ・ウイズ ★沖ワークウエル オムロン京都太陽 ソニー・太陽 ★日本設備管理学会就労支援技術研究会 ★徳山高専 宇部高専 仙台高専



					長野高専 北九州高専 沖縄高専
2018/1/27	18:45-19:30	外部評価委員会	アオッサ福井	20名 オブザーバーを含む	福井高専 福井大学 全国LD親の会北陸支部 熊本高専 太陽の家 サンキュウ・ウィズ 沖ワークウェル ソニー・太陽 日本設備管理学会就労支援技術研究会 ★徳山高専 宇部高専 北九州高専
2018/2/15	16:20-16:55	中間ヒアリング	科学技術振興機構	2名	★科学技術振興機構 徳山高専
2018/2/23	14:00-17:40	シンポジウム報告・パネルディスカッション(Japan-China Workshop 2018)	石川四高記念文化交流館	20名	★日本海国際交流センター 徳山高専 福井高専
2018/2/24	10:00-14:00	インターンシップ報告・特例子会社PR(熊本高専・H29文科省事業クロージング会議)	(株)サートプロ会議室	13名	釧路高専 富山高専 東京高専 長野高専 明石高専 徳山高専 北九州高専 沖縄高専 ★熊本高専
2018/3/8	14:30-15:30	運営委員会準備	徳山工業高等専門学校	2名	★徳山高専
2018/3/15	13:00-15:15 (14:30)	インターンシップ・プログラムおよび特例子会社PRに関する	ホンダ太陽株式会社 ホンダR&D太陽株式会社	2名	ホンダ太陽 ホンダR&D太陽 ★徳山高専



		打ち合わせ			
2018/3/15	16:30-17:45	シンポジウム・ものづくり体験実習に関する打ち合わせ	社会福祉法人太陽の家	5名	太陽の家 ★徳山高専
2018/3/17	13:00-16:30	シンポジウム報告および改善案の打ち合わせ(日本設備管理学会就労支援技術研究会)	響きのホール	10名	★日本設備管理学会就労支援技術研究会 福井高専 福井大学 徳山高専
2018/3/20	13:00-17:00 (15:00)	シンポジウムおよびインターンシップ・プログラムに関する打ち合わせ	株式会社サンキュウ・ウィズ	5名	サンキュウ・ウィズ ★徳山高専
2018/3/22	14:30-16:30 16:30-17:15	第4回地域交流会参加 インターンシップに関する打ち合わせ	千代田区障害就労支援センター	約40名	★千代田区障害支援センター 富士ソフト企画 徳山高専
2018/3/28	15:00-18:30	シンポジウム・インターンシッププログラム・特例子会社PRに関する打ち合わせ	ソニー・太陽株式会社	2名	太陽の家 ★徳山高専
2018/3/29	18:00-21:30	インターンシッププログラムなどに関する打ち合わせ	熊本高等専門学校	3名	熊本高専 ★徳山高専

(2)平成30年度の活動一覧表

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	研究者の参画数等	関係機関
2018/9/20	11:00-14:00	ワークショップ 打ち合わせ・助言等	科学技術振興機構 東京本部 8F	4名	科学コミュニケーター1名 科学技術振興機構2名 徳山高専1名	科学コミュニケーター 科学技術振興機構 ★徳山高専
2018/10/31	11:00-14:00	ワークショップ 打ち合わせ・助言等	徳山高専 周南総合支援学校 徳山駅前 賑わい交	3名	科学コミュニケーター1名 徳山高専2名	科学コミュニケーター ★徳山高専

			流施設			
2018/11/6	13:00- 15:30	ワークショップ 打ち合わせ	社会福祉 法人太陽 の家	3名	太陽の家 2名 徳山高専 1名	太陽の家 ★徳山高専
2018/11/21	13:00- 13:50	運営委員会	徳山高専	6名	徳山高専 6名	★徳山高専
2018/11/21	18:00- 20:30	プレ・ワークシ ョップ	徳山高専	7名	周南総合支援学校教員 3名 中小企業社員 1名 徳山高専専攻科生 1名 徳山高専 2名	★徳山高専
2018/11/29	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 1-1	山口県立 周南総合 支援学校	28名 (+6名)	科学コミュニケーター 1名 沖ワークウェル 1名 徳山高専 4名	科学コミュニケーター 沖ワークウェル ★徳山高専
2018/12/13	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 1-2	徳山駅前 賑わい交 流施設 交流室 2	32名 (+7名)	科学コミュニケーター 1名 太陽の家 3名 徳山高専 3名	科学コミュニケーター 太陽の家 ★徳山高専
2019/1/23	13:00- 17:00	ワークショップ 打ち合わせ	オムロン京 都太陽 株式会社	3名	オムロン京都太陽 1名 徳山高専 2名	オムロン京都太陽 ★徳山高専
2019/1/24	16:00- 18:00	事前トレーニ ング	徳山高専	11名	ソニー・太陽 1名 徳山高専 5名 徳山高専学生 5名	ソニー・太陽 ★徳山高専
2019/1/27	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 2-1	徳山駅前 賑わい交 流施設 交流室 1	25名 (+10名)	科学コミュニケーター 1名 オムロン京都太陽 1名 徳山高専 3名 徳山高専学生 5名	オムロン京都太陽 ★徳山高専
2019/2/12	14:25- 15:00	JST 中間ヒア リング	JST 本部	2名	徳山高専 2名	★徳山高専
2019/2/21	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 2-2	徳山駅前 賑わい交 流施設 交流室 2	25名 (+11名)	科学コミュニケーター 1名 ソニー・太陽 1名 徳山高専 3名 徳山高専学生 5名	ソニー・太陽 熊本高専 ★徳山高専
2019/3/25	15:00- 1600	運営委員会	徳山高専	—	業務参加者 8名	★徳山高専
2019/3/25	14:00- 15:00	外部評価委員 会	徳山高専	—	外部評価委員 3名 業務参加者 8名	安川電機 徳山大学

						宇部高専 ★徳山高専
--	--	--	--	--	--	---------------

(3)平成 31 年度の活動一覧表

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	研究者の参画数(登壇者/講師・ファシリテーター)	関係機関
2019/4/23	16:10-18:00	第1回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2019/5/21	16:10-18:00	第2回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2019/6/18	16:10-18:00	第3回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2019/7/17	13:00-16:00	特別セミナー「グローバル視点での地域共生社会について」	徳山駅前賑わい交流施設	40名	登壇者2/講師1・ファシリテーター1	★徳山高専, ★徳山大学, 周南市, 下松市, 山口県教育委員会
2019/7/23	16:10-17:00	第4回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2019/8/10	9:30-16:30	ワークショップ「スイッチ支援機器製作セミナー」	周南総合支援学校	30名	登壇者1/講師1	★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校, ★山ねこ工作室
2019/8/31	13:00-16:00	福祉と科学技術カフェ「視線入力装置って何？」	鼓ヶ浦こども医療福祉センター	25名	講師2	★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校, ★株式会社ユニコーン
2019/9/23	10:00-12:00	支援機器入門1(IoTブロックで福祉機器を作ろう！)	防府市市民活動支援センター	30名		★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校
2019/10/29	19:00-21:00	福祉と科学技術カフェ(特例子会社から学	星らんどくだまつ(下松市立図	28名	講師1	★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校, ★下松市教

		び共生社会を 考える)	書館)			育委員会, ★サンキュ ウ・ウイズ
2019/11/3	10:30-1 2:00	ワークショップ 支援機器入門 1(IoTブロック で福祉機器を 作ろう！)	徳山大学	16名		★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/3	13:00-1 4:30	ワークショップ 支援機器入門 2(いろいろな スイッチに触 れよう！)	徳山大学	13名	登壇者 1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/1 2	16:45-1 8:15	ワークショップ 『『幸せな暮ら し』ってどんな カタチ？(第 1 回)	徳山高専	19名	ファシリテータ 1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/1 9	16:45-1 8:15	ワークショップ 『『幸せな暮ら し』ってどんな カタチ？(第 2 回)	徳山高専	10名	ファシリテータ 1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/2 7	19:00-2 0:00	みんなでアダ プテッドスポー ツ(ブラインド サッカー)を楽 しもう！	ソルトアリ ーナ防府 (防府市ス ポーツセン ター)	8名	登壇者 2	★徳山高専, ★徳山 大学, ★ゲートウェイ やまぐち
2019/12/1 3	19:00-2 1:00	福祉と科学技 術カフェ(特例 子会社から学 び共生社会を 考える)	防府市市 民活動支 援センター	33名	登壇者 1/講師 1・ファシ リテータ 1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校, ★ソニー・太 陽
2020/1/21	16:10-1 7:00	第 5 回共生人 材育成ステア リング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2020/2/18	16:10-1 7:00	第 6 回共生人 材育成ステア リング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2020/2/	16:1	第 7 回共生	徳山高	4名		★徳山高専

20	0-17:00	人材育成ステアリング会議	専			
2020/3/6	16:10-17:00	第8回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	3名		★徳山高専
2020/3/27	16:00-17:00	外部評価委員会	徳山高専	4名 3名		★徳山高専 安川電機 宇部高専 徳山大学
2020/3/30	16:00-16:30	第9回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	4名		★徳山高専

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、やむを得ず中止をした企画を以下に示す。代替手段として、オンライン上でのカフェやシンポジウムの開催を検討したが、感染が拡大傾向にあった状況になったこと、事前準備が困難だったこと、日程を含めて調整に時間を要することなどにより、年度内での開催を見送り、落ち着いてから代替のカフェやシンポジウムを企画することとなった。

シンポジウムは中止となったが、これまでカフェやワークショップの講師として参加していただいた業務協力者やシンポジウムにて講師をお願いしていた業務協力者より、発表原稿の提供が受けられることに在り、シンポジウムの代替措置として「みんなでつくる共生社会シンポジウム講演論文集 2」を編集、出版することにした。

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	研究者の参画数(登壇者/講師・ファシリテーター)	関係機関
2020/2/23	13:30-16:30	福祉と科学技術カフェ(スイッチ支援機器の使い方)	周南市役所シビックホール	40名 (申込者数)	登壇者1/講師2	★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校, ★山ねこ工作室
2020/2/29	13:00-16:30	共生社会を考えるシンポジウム	スターピアくたまつ	80名	登壇者1/講師9・ファシリテーター1	★徳山高専, ★徳山大学, 他予定

#### 4. ネットワークの状況

平成29年度は、実施担当者と副担当者を中心としたネットワーク構築となった。インターンシップ・プログラムを通して、他高専、他機関とのネットワークが、日頃の情報交換から支援学校－特例子会社間のネットワークが、シンポジウムを通して特例子会社－特例子会社間および特例子会社－福祉作業所間のネットワークが、学会発表により興味を持ってもらった学生・研究者らとの間でネットワークができた。

さらに、本事業の内容の一部を国際会議で発表した際に、学会会場近隣のガジャ・マダ大学(インドネシア最古の大学)の人間工学系学科において、支援機器や支援システムを中心としたミニ講演や学生交流を行うことができた。昨年度、ガジャ・マダ大学と徳山高専の間で学術協定締結がなされた。

平成30年度は、地域に活動の拠点をシフトし、地元の福祉、教育、医療、企業関係者を訪問し、支援技術の

紹介やワークショップへの参加を促したところ、地域社会の多様なステークホルダーとつながり、彼らと課題や情報を共有することができた。また、参加者による市議会議員の紹介につながったり、この問題に関心がある新たな企業の紹介につながったりしたことで、福祉と科学技術に関する徳山高専の取り組みについて、山口県内での認知度が向上した。その結果、徳山高専主催の障害と支援技術を取り扱った技術セミナーに厚生労働省の出先機関である山口労働局の後援が得られた。

平成31年度は、平成30年度の活動を受けて、近隣の防府市市民活動推進センターや下松市教育委員会、ワークショップ・カフェの開催希望や、山口市役所や山口県職業リハビリテーション研究会(会長:山口大学教育学部教授)から障害者就労に関するセミナーの講師依頼がくるようになり、そこで、近隣の支援学校教員を紹介してもらうなど、私たちの企画の参加者からの紹介が続いている状況である。

現在、財務省が推進している「地域経済エコシステムの形成について」の1つのモデル事業として取り扱われるよう、最終年度のシンポジウムを通して関係者に働きかける予定としていた。単なる地方の取り組みではなく、地域資源に基づいたどこでもできる連携事例のロールモデルとして発展させたいと考えている。

## 5. 成果及び波及効果

1-7で挙げた項目に対して、成果および波及効果を述べる。

### ①特例子会社-高専連携によるインターンシップ・プログラム開発

全国高専ATネットワークの高専における特例子会社の知名度が向上し、徳山高専、福井高専を中心に、継続してプログラムが続いている。このプログラムに参加した学生の評判がよく、インターンシップ費用を全額負担する企業もでてきた。また、プログラムに参加した学生が、親会社ではなく特例子会社を就職先として選択するようになり、実際に就職する運びとなった。プログラムを通して、学生に特例子会社の魅力が伝わったといえる。

また、参加機関である特例子会社同士の関係が密となり、新規事業による雇用を生み出す流れができた。私たちが新規に訪問した特例子会社にシンポジウム講演資料を配布したことで、その企業がシンポジウムに参加した企業を訪問し、新規事業の相談に発展していることが報告されている。これより、シンポジウムの内容に時代が追いついてきた状況となってきている。

### ②多様な特性を持つ若者向けのものづくり体験実習

社会福祉法人太陽の家の精神社会福祉士を中心に実施し、大分県内の教育、福祉、企業関係者のネットワークができた。また、多様な特性を持つ学生の自己理解が進む実習プログラムができた。この実習から派生した障害者就労支援事業(デイサービス)を新たにはじめることになった。また、大分高専からコミュニケーション関連科目の非常勤講師依頼が太陽の家であり、現在該当する講義を行っており、太陽の家と大分高専の関係が強化された。

### ③活動や特例子会社のPR事業

学会や研究会での紹介により、福祉、障害者就労、支援技術などの関係者から講演依頼を受ける機会が増えた。また、ワークショップなどで特例子会社を紹介したことで、特に教育関係者や企業関係者の特例子会社への認知度が高まり、特例子会社見学に行く関係者が増えたことで、特例子会社との距離が近づいてきた。

私たちの活動を通して、高専関係者の特例子会社への認知度も高まったことで、日本支援技術協会主催のJAPAN-ATフォーラムを2018年度に徳山高専で開催した。そこでは、与党の現職衆議院議員、前衆議院議員、県会議員が視察され、みんなでつくる共生社会シンポジウム講演資料集をもとに「働く」「科学技術(支援技術)」の関係を説明し、地域資源と連動した社会実装の取り組みについて説明を行った。ま

た、スタートアップ企業育成やアントレプレナーシップ教育で知り合った友人の紹介を受け、財務省講堂にて非公式ではあるが座談会にて共生社会の実現に向けた取り組みについて発表した。財務省でのネットワークにより、関係者からエコシステムや地域活性化に関する情報を得ることができるようになった。また、特例子会社-高専連携の取り組みを国際会議で発表後に訪問したガジャ・マダ大学(インドネシア)で国際会議の内容についてミニ講演会を行った。その後、ガジャ・マダ大学と徳山高専の学術連携協定締結へとつながった。2017年度の名古屋市での取り組み PRにより外国にゆかりのある子供たちの学習教材を開発し学習支援を行っている NPO 法人にわたりの会とつながり、2018 年より外国人のための漢字カードを中心に一緒に教材開発を進めるにいたった。

特例子会社が社員に文化・スポーツ活動を推奨していることで、地元関係者の障害者スポーツへの関心が高まり、その要望を受けて、山口県内初の視覚障害者向けのブラインド・サッカーチーム設立を目指す団体ゲートウェイやまぐちが誕生し、副会長として支援を行うことになった。2020 年 2 月に設立予定である。ブラインド・サッカーは、健常者でも目隠しすることで視覚障害を体験することができるため、障害の有無にかかわらず楽しむことができる。また、障害者スポーツ競技において、競技記録の電子化や練習をサポートする支援技術の導入が遅れていることがわかり、新たな支援ニーズを見つけることにつながった。

また、2017 年 8 月の講演で外国にゆかりのある子供たちの学習支援を行っている NPO 法人とつながり、漢字カードを中心とした外国人向けの学習教材の開発、インターネット回線を活用した子供たちの学習支援に発展した。

#### ④地域社会の各関係者の課題を共有する場とした福祉と科学技術に関するワークショップの実施

#### ⑤障害者就労や支援技術に関する啓蒙・普及を継続するカフェやワークショップの実施

④、⑤において、多様なステークホルダーに支援技術を紹介したことで、市民の理解度が増えた。ワークショップ参加者より相談や紹介を受けたことで、山口市のコンサルティング会社と共同で障害者就労支援セミナー(山口市役所主催)や講演(山口職業リハビリテーション研究会)の機会が得られ、近隣市の関係者にも福祉と支援技術の関係を紹介することができた。現在、山口市のコンサルティング会社と共同で障害者雇用を考慮した職業理解や会社運営が可能なキャリア・カードの開発を行っている。

ワークショップに参加した地元企業(出光興産徳山事業所)は、平成 31 年度に障害者雇用を拡大するために会社の熱源を利用したいちご園の整備を開始した。出光興産の担当者とも連携を取っており、平成 31 年度シンポジウムにてその取り組みを紹介することを計画した。

#### ⑥市民に支援技術を広める学生ファシリテータの育成

科学コミュニケーターによりワークショップの作り方の講習を受けたことで、参加学生はワークショップ運営の要点を学ぶことができた。これをもとに、福祉や支援技術に関する学生主体のワークショップの早期開催を目指す。

#### ⑦周南地域の障害者就労や科学技術に関する「地の拠点」「知の拠点」設立宣言とその整備

これまでの相互の連携活動をベースに、山口県立周南総合支援学校、(私立)徳山大学、(国立)徳山高専の三者を核とした全国的にも珍しい地域共生社会の実現に向けた協定を締結する運びとなった(2020 年 2 月 13 日予定)。この協定母体を「地の拠点」の初期の受け皿として考えており、知として集積化を図るために、支援技術の要素としてまずは多様なスイッチ類・入力支援装置を取り扱い、状況に応じて発展させていくリーンスタートアップモデルを採用する予定である。三者連携協定は、趣旨に賛同する団体は、三者の合意を得て協定に加入できる発展型協定につながった。

## 6. 外部評価

外部評価委員の評価を以下に示す。

### ○大野充孝(株式会社安川電機環境・社会システム事業部環境エネルギー一部開発課)

2019年度取り組みでの主な成果として、特に以下評価する。

- (1)ワークショップ・カフェの誘致、運営の発展・拡大
- (2)「地の拠点」の基盤整備(周南総合支援学校・徳山大学・徳山高専)
- (3)「知の拠点」のスタート・コンテンツの決定

昨年度評価にて、「地(知)の拠点」の役割、スタンスの不明瞭さをコメントした。これについて、(2)(3)にて、そこを明確にするステップが着実にふまれていると感じ、加えて評価する。

現在、全世界で新型コロナウイルスの脅威による苦しい状況が続いている。しかし他面から見れば、その影響から就労のあり方を見直す局面でもある。今後のさらなる展開に期待する。

### ○羽瀨由子(徳山大学福祉情報学部教授)

2019年度の取り組みにおける成果として、ステークホルダーの巻き込みアウトリーチ活動を積極的に進められていることから、以下の2点を評価いたします。

- ・「地の拠点」の基盤の整備
- ・地域資源をつなぎ核となる人材の発掘・ネットワーキングの確立

一方で上記の成果を含めこれから運用の緒についたところで事業が終了することが残念であり、今後の課題として以下の点を指摘いたします。

- ・今後、どのような形で構築したシステムが維持されるのかが見通せない。事業が終了した後も構築したシステムが自律的に運営され定着していくための方策・方針を示すことが必要である。

### ○浅原京子(宇部工業高等専門学校一般科目教授)

平成29年度は全国を、平成30年度は地域を対象に活動の軸を移されました。令和元年度は地域を対象に多様な活動を展開する中で、障害に関わる地域の関係者をつないでいることは評価できます。特に、特別支援学校と私立大学との三者連携協定はまとめるのが大変だったと思いますが、効果的かつ持続的に機能する連携にするためにはさらなる工夫が必要になると思います。この活動が、高専の教育研究活動や地域貢献のロールモデルになるように持続的な活動を期待します。

## 7. 支援終了後の活動(継続・発展)など

インターンシップ・プログラムに参加した学生についての企業からの評判がよいため、インターンシップ費用を全額負担する企業や無料で企業説明会、公開講座を実施するところもでてきた。これにより、継続してこの事業に取り組めるようになった。

次に、ものづくり体験実習で得た経験をもとに、社会福祉法人太陽の家は、平成30年度から障害者就労支援事業(デイサービス)を開始した。ものづくり体験実習も大分県内の中小企業と連携して多様な実習の受け入れ先を確保した。

「地の拠点」「知の拠点」づくりの基盤として、「山口県立周南総合支援学校」「(私立)徳山大学」「(国立)徳山工業高等専門学校」の三者による地域共生社会の形成のための連携協定を2月中旬に締結する予定である。この組み合わせの協定は全国でも珍しいものであり、これまでに実際にある協力関係を基盤として協定へと発展したもので、趣旨に賛同する団体は三者の合意を得て新たに加入できる発展型の協定とした。



「知の拠点」の核となる支援技術として、ワークショップ後に地域の教育、福祉、医療関係者からの要望が多かった多様なスイッチ類を含む入力支援機器を選択・整備した。本事業による活動で購入した支援機器を通してその啓蒙普及活動を続けることで、困り感を抱える側からの依頼による受益者負担型の支援機器開発へとつながることが期待できる。

福祉と科学技術(支援技術)の普及活動についても、三者協定を軸に、防府市市民活動センターや地元地自体である下松市が共同でのセミナー開催を申し出ており、行政と連携することで各種セミナーの継続開催が可能となる。また、活動資金として、相談業務を行った企業からの寄付も検討している。

ワークショップに参加したコンサルティング会社に障害者就労や支援技術に関する基礎的なノウハウを提供したことで、その会社が障害者就労や多様性に関する有料セミナーの仕事を受注できるようになった。また、ワークショップ参加者から紹介を受けた別のコンサルティング会社から障害者スポーツ普及活動について相談があり、その会社を中心に異業種連携型の支援団体「ゲートウェイやまぐち」を設立することになった。その活動の一環として山口県初のブラインド・サッカーチームを2020年2月に立ち上げた。民間のコンサルティング会社や障害者就労に困り感を抱える会社の相談業務を行うことで、会社からの寄付や共同研究受託費が見込める。

このように、企業(大・中)、個人、行政、企業(中・小)から活動資金が循環するその時の状況に応じたエコシステムの構築を図り、持続可能な活動へとつながる予定である。

## 8. 資料編

### 資料1:活動一覧

3カ年における活動の実績を、以下に年度毎に示す。

#### (1)平成29年度の活動一覧表

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	関係機関
2017/8/9	13:30-16:00	インターンシップ・プログラムの事前打ち合わせ	オムロン京都太陽株式会社	3名	★オムロン京都太陽 ★新居浜高専 ★福井高専
2017/8/9	13:30-17:30	ものづくり体験実習(プレ版)の打ち合わせ・特例子会社に関する講演	社会福祉法人太陽の家	9名	★徳山高専 ★太陽の家 ★太陽の家企業会
2017/8/21 - 2017/09/15	8:30-17:15	インターンシップ・プログラム	オムロン京都太陽株式会社	2名	★オムロン京都太陽 ★新居浜高専 ★福井高専
2017/8/21 - 2017/09/8	8:30-17:15	インターンシップ・プログラム	オムロン太陽株式会社	1名	★オムロン太陽 ★新居浜高専
2017/8/21 - 2017/08/25	8:30-17:15	ものづくり体験実習プログラム	社会福祉法人太陽の家 オムロン太陽株式会社 ソニー・太陽株式会社	講師1名 指導員4名 生徒3名 教員4名	★太陽の家 ★オムロン太陽 ★ソニー・太陽 大分県高校教員 関係者
2017/8/21 2017/08/22	13:00-17:15 8:30-16:00	ものづくり体験実習プログラムの視察および高校教員向け相談業務	社会福祉法人太陽の家 オムロン太陽株式会社	3名	★太陽の家 ★オムロン太陽 ★徳山高専 ★福井高専
2017/8/25	10:00-15:30	特例子会社PRに関する講演および議論	明石工業高等専門学校	10名	★熊本高専 ★明石高専 徳山高専
2017/8/26	10:00-13:00	特例子会社PRに関する講演および議論	TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター 1C	8名	★日本設備管理学会就労支援技術研究会 徳山高専

2017/8/28 - 2017/09/1	8:30-17:15	インターンシップ・プログラム	ソニー・太陽株式会社	5名	★ソニー・太陽 ★長野高専 ★北九州高専 ★大分高専 ★徳山高専
2017/8/30	13:00-16:30	特例子会社 PR に関する講演および議論	名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール	10名	★中部産業連盟 ★中日新聞社 徳山高専
2017/9/1	13:30-16:00	インターンシップ・プログラムの視察および学生面談	オムロン太陽株式会社	2名	★オムロン太陽 ★新居浜高専
2017/9/1	13:30-17:30	インターンシップ・プログラムの報告会および今後の打ち合わせ	ソニー・太陽株式会社	12名	★ソニー・太陽 ★長野高専 ★北九州高専 ★大分高専 ★徳山高専
2017/9/3	10:30-12:00	特例子会社 PR に関する講演および議論	放送大学福井学習センター	34名	★放送大学福井 学習センター 福井高専 徳山高専
2017/9/7	14:00-17:00	インターンシップ・プログラムの視察および学生面談	オムロン京都太陽株式会社	4名	★オムロン京都太陽 ★福井高専 就労支援技術研究会
2017/9/22	13:00-16:30	太陽の家・太陽の家企業会 PR に関する講演およびものづくり体験実習に関する打ち合わせ	徳山工業高等専門学校	102名	徳山高専 ★太陽の家 ★太陽の家企業会
2017/10/22	13:00-17:00	インターンシップ報告会	徳山工業高等専門学校	44名	★徳山高専
2017/10/1	16:15- 17:45	特例子会社 PR および障害者就労に関する講演・議論	TKP 新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム 2B	3名	★就労支援技術研究会
2017/10/6	10:00-12:00	インターンシップ報告会	新居浜工業高等専門学校	40名	★新居浜高専

2017/10/8	9:30-12:00	特例子会社に関する パネルディスカッション (一般社団法人日本設備管理学会北信越支部研究会) シンポジウム会場視察	アオッサ福井 608 会議室 アオッサ福井・ハピリン 福井	15 名	徳山高専 福井高専 ★日本設備管理学会北信越支部
2017/10/27	13:00-17:00	インターンシップ報告会	福井工業高等専門学校	43 名	★福井高専
2017/11/2	14:00-17:00	特例子会社見学	オムロン京都太陽株式会社	45 名	★オムロン京都太陽 ★福井高専
2017/11/4	9:30-17:00	ものづくり体験実習に関する面接法の調査	徳山大学 11 号館 1141 号教室	26 名	★徳山大学 ★日本語教育学会中国支部 徳山高専
2017/11/5	13:30-16:30	特例子会社 PR に関する講演および議論	株式会社サンキュウ・ウィズ	7 名	★サンキュウ・ウィズ 徳山高専 ★就労支援技術研究会
2017/11/11	14:30-15:30	特例子会社 PR に関する講演および議論	長野工業高等専門学校	25 名	★熊本高専 ★長野高専 徳山高専
2017/11/18	9:30-17:00	特例子会社 PR および特例子会社における短期インターンシップ・プログラムの報告	北九州国際会議場	56 名	★日本福祉工学会九州支部 徳山高専 福井高専
2017/11/20 2017/11/21 2017/11/22	16:00-17:30 10:30-12:00 14:00-16:00 11:30-13:00 13:30-15:45	シンポジウムの打ち合わせ、ものづくり体験実習に関する打ち合わせおよび調査	沖ワークウェル株式会社 一般社団法人リエンゲージメント 医療法人社団弘富会 神田東クリニック 株式会社サンキュウ・ウィズ 富士ソフト企画株式会社	1 名	沖ワークウェル リエンゲージメント 神田東クリニック サンキュウ・ウィズ 富士ソフト企画 ★徳山高専

2017/11/21 2017/11/22	14:00-16:30 10:00-16:00	ものづくり体験実習 に関する打ち合わせ および調査	医療法人社団弘富会 神田東クリニック 株式会社ゼネラルパー トナーズ/株式会社 KAIEN	2名	★太陽の家 神田東クリニック ゼネラルパートナ ーズ KAIEN
2017/11/22	11:30-13:00 13:30-15:45	シンポジウムの打ち 合わせ, ものづくり体 験実習に関する打ち 合わせおよび調査	株式会社サンキュウ・ ウイズ 富士ソフト企画株式会 社	2名	サンキュウ・ウイズ 富士ソフト企画 ★福井高専
2017/11/25 2017/11/26	9:30-17:30 9:30-16:30	ものづくり体験実習 に関する調査 (ISO 内部監査員養 成講習)	九州共立大学	6名	九州共立大学 ★徳山高専
2017/12/11	16:15-17:00	運営委員会準備会 議	徳山工業高等専門学 校	2名	★徳山高専
2017/12/22	13:00-14:00	運営委員会準備会 議	徳山工業高等専門学 校	2名	★徳山高専
2018/1/4	14:00-15:00	運営委員会準備会 議	徳山工業高等専門学 校	2名	★徳山高専
2018/1/5	13:30-15:00 16:30-18:00	シンポジウムの打ち 合わせ	ハピリン福井 福井工業高等専門学 校	3名	★徳山高専 ★福井高専
2018/1/12	14:00-15:00	運営委員会	徳山工業高等専門学 校	7名	★徳山高専
2018/1/18	13:15-14:00	シンポジウムの打ち 合わせ	ハピリン福井	2名	★徳山高専 ★福井高専
2018/1/27	8:30-18:30	みんなでつくる共生 社会シンポジウム	ハピリン福井	約 60名	★福井高専 福井大学 全国 LD 親の会北 陸支部 ★熊本高専 ★太陽の家 サンキュウ・ウイズ ★沖ワークウエル オムロン京都太陽 ソニー・太陽 ★日本設備管理 学会就労支援技 術研究会

				★徳山高専 宇部高専 仙台高専 長野高専 北九州高専 沖縄高専
2018/1/27	18:45-19:30	外部評価委員会	アオッサ福井	20名 オブザー バーを 含む 福井高専 福井大学 全国LD親の会北 陸支部 熊本高専 太陽の家 サンキュウ・ウイズ 沖ワークウエル ソニー・太陽 日本設備管理学 会就労支援技術 研究会 ★徳山高専 宇部高専 北九州高専
2018/2/15	16:20-16:55	中間ヒアリング	科学技術振興機構	2名 ★科学技術振興 機構 徳山高専
2018/2/23	14:00-17:40	シンポジウム報告・ パネルディスカッシ ョン(Japan-China Workshop 2018)	石川四高記念文化交 流館	20名 ★日本海国際交 流センター 徳山高専 福井高専
2018/2/24	10:00-14:00	インターンシップ報 告・特例子会社 PR(熊本高専・H29文 科省事業クロージ ング会議)	(株)サートプロ会議室	13名 釧路高専 富山高専 東京高専 長野高専 明石高専 徳山高専 北九州高専 沖縄高専 ★熊本高専
2018/3/8	14:30-15:30	運営委員会準備	徳山工業高等専門学 校	2名 ★徳山高専

2018/3/15	13:00-15:15 (14:30)	インターンシップ・プログラムおよび特例子会社 PR に関する打ち合わせ	ホンダ太陽株式会社 ホンダ R&D 太陽株式会社	2 名	ホンダ太陽 ホンダ R&D 太陽 ★徳山高専
2018/3/15	16:30-17:45	シンポジウム・ものづくり体験実習に関する打ち合わせ	社会福祉法人太陽の家	5 名	太陽の家 ★徳山高専
2018/3/17	13:00-16:30	シンポジウム報告および改善案の打ち合わせ(日本設備管理学会就労支援技術研究会)	響きのホール	10 名	★日本設備管理学会就労支援技術研究会 福井高専 福井大学 徳山高専
2018/3/20	13:00-17:00 (15:00)	シンポジウムおよびインターンシップ・プログラムに関する打ち合わせ	株式会社サンキュウ・ウィズ	5 名	サンキュウ・ウィズ ★徳山高専
2018/3/22	14:30-16:30 16:30-17:15	第 4 回地域交流会参加 インターンシップに関する打ち合わせ	千代田区障害就労支援センター	約 40 名	★千代田区障害支援センター 富士ソフト企画 徳山高専
2018/3/28	15:00-18:30	シンポジウム・インターンシッププログラム・特例子会社 PR に関する打ち合わせ	ソニー・太陽株式会社	2 名	太陽の家 ★徳山高専
2018/3/29	18:00-21:30	インターンシッププログラムなどに関する打ち合わせ	熊本高等専門学校	3 名	熊本高専 ★徳山高専

(2)平成 30 年度の活動一覧表

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	研究者の参画数(登壇者/講師・ファシリテーター)	関係機関
2018/9/20	11:00-14:00	ワークショップ 打ち合わせ・助言等	科学技術振興機構 東京本部 8F	4 名	科学コミュニケーター 1 名 科学技術振興機構 2 名 徳山高専 1 名	科学コミュニケーター 科学技術振興機構 ★徳山高専
2018/10/31	11:00-14:00	ワークショップ 打ち合わせ・	徳山高専 周南総合	3 名	科学コミュニケーター 1 名 徳山高専 2 名	科学コミュニケーター ★徳山高専

		助言等	支援学校 徳山駅前 賑わい交 流施設			
2018/11/6	13:00- 15:30	ワークショップ 打ち合わせ	社会福祉 法人太陽 の家	3名	太陽の家 2名 徳山高専 1名	太陽の家 ★徳山高専
2018/11/21	13:00- 13:50	運営委員会	徳山高専	6名	徳山高専 6名	★徳山高専
2018/11/21	18:00- 20:30	プレ・ワークシ ョップ	徳山高専	7名	周南総合支援学校教員 3名 中小企業社員 1名 徳山高専専攻科生 1名 徳山高専 2名	★徳山高専
2018/11/29	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 1-1	山口県立 周南総合 支援学校	28名 (+6名)	科学コミュニケーター 1名 沖ワークウェル 1名 徳山高専 4名	科学コミュニケーター 沖ワークウェル ★徳山高専
2018/12/13	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 1-2	徳山駅前 賑わい交 流施設 交流室 2	32名 (+7名)	科学コミュニケーター 1名 太陽の家 3名 徳山高専 3名	科学コミュニケーター 太陽の家 ★徳山高専
2019/1/23	13:00- 17:00	ワークショップ 打ち合わせ	オムロン京 都太陽 株式会社	3名	オムロン京都太陽 1名 徳山高専 2名	オムロン京都太陽 ★徳山高専
2019/1/24	16:00- 18:00	事前トレーニ ング	徳山高専	11名	ソニー・太陽 1名 徳山高専 5名 徳山高専学生 5名	ソニー・太陽 ★徳山高専
2019/1/27	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 2-1	徳山駅前 賑わい交 流施設 交流室 1	25名 (+10名)	科学コミュニケーター 1名 オムロン京都太陽 1名 徳山高専 3名 徳山高専学生 5名	オムロン京都太陽 ★徳山高専
2019/2/12	14:25- 15:00	JST 中間ヒア リング	JST 本部	2名	徳山高専 2名	★徳山高専
2019/2/21	13:00- 17:00	共生と多様性 を考えるワー クショップ 2-2	徳山駅前 賑わい交 流施設 交流室 2	25名 (+11名)	科学コミュニケーター 1名 ソニー・太陽 1名 徳山高専 3名 徳山高専学生 5名	ソニー・太陽 熊本高専 ★徳山高専
2019/3/25	15:00- 1600	運営委員会	徳山高専	—	業務参加者 8名	★徳山高専



2019/3/25	14:00-15:00	外部評価委員会	徳山高専	—	外部評価委員 3 名 業務参加者 8 名	安川電機 徳山大学 宇部高専 ★徳山高専
-----------	-------------	---------	------	---	-------------------------	-------------------------------

(3)平成 31 年度の活動一覧表

開催日	開催時間	活動名	開催場所	参加者数	研究者の参画数(登壇者/講師・ファシリテーター)	関係機関
2019/4/23	16:10-18:00	第 1 回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5 名		★徳山高専
2019/5/21	16:10-18:00	第 2 回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5 名		★徳山高専
2019/6/18	16:10-18:00	第 3 回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5 名		★徳山高専
2019/7/17	13:00-16:00	特別セミナー「グローバル視点での地域共生社会について」	徳山駅前賑わい交流施設	40 名	登壇者 2/講師 1・ファシリテーター 1	★徳山高専, ★徳山大学, 周南市, 下松市, 山口県教育委員会
2019/7/23	16:10-17:00	第 4 回共生人材育成ステアリング会議	徳山高専	5 名		★徳山高専
2019/8/10	9:30-16:30	ワークショップ「スイッチ支援機器製作セミナー」	周南総合支援学校	30 名	登壇者 1/講師 1	★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校, ★山ねこ工作室
2019/8/31	13:00-16:00	福祉と科学技術カフェ「視線入力装置って何？」	鼓ヶ浦こども医療福祉センター	25 名	講師 2	★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校, ★株式会社ユニコーン
2019/9/23	10:00-12:00	支援機器入門 1 (IoT ブロックで福祉機器を作ろう！)	防府市市民活動支援センター	30 名		★徳山高専, ★徳山大学, ★周南総合支援学校

2019/10/2 9	19:00-2 1:00	福祉と科学技術カフェ(特例子会社から学び共生社会を考える)	星らんどく だまつ(下 松市立図 書館)	28名	講師1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校, ★下松市教 育委員会, ★サンキュ ウ・ウイズ
2019/11/3	10:30-1 2:00	ワークショップ 支援機器入門 1(IoTブロック で福祉機器を 作ろう!)	徳山大学	16名		★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/3	13:00-1 4:30	ワークショップ 支援機器入門 2(いろいろな スイッチに触 れよう!)	徳山大学	13名	登壇者1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/1 2	16:45-1 8:15	ワークショップ 「『幸せな暮ら し』ってどんな カタチ?(第1 回)	徳山高専	19名	ファシリテータ1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/1 9	16:45-1 8:15	ワークショップ 「『幸せな暮ら し』ってどんな カタチ?(第2 回)	徳山高専	10名	ファシリテータ1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校
2019/11/2 7	19:00-2 0:00	みんなでアダ プテッドスポー ツ(ブラインド サッカー)を楽 しもう!	ソルトアリ ーナ防府 (防府市ス ポーツセン ター)	8名	登壇者2	★徳山高専, ★徳山 大学, ★ゲートウェイ やまぐち
2019/12/1 3	19:00-2 1:00	福祉と科学技術カフェ(特例子会社から学び共生社会を考える)	防府市市 民活動支 援センター	33名	登壇者1/講師1・ファシリテータ1	★徳山高専, ★徳山 大学, ★周南総合支 援学校, ★ソニー・太 陽
2020/1/21	16:10-1 7:00	第5回共生人 材育成ステア リング会議	徳山高専	5名		★徳山高専
2020/2/18	16:10-1	第6回共生人	徳山高専	5名		★徳山高専

	7:00	材育成ステア リング会議				
2020/2/ 20	16:1 0-17:0 0	第7回共生 人材育成ステ アリング会議	徳山高 専	4名		★徳山高専
2020/3/ 6	16:1 0-17:0 0	第8回共生 人材育成ステ アリング会議	徳山高 専	3名		★徳山高専
2020/3/ 27	16:0 0-17:0 0	外部評価 委員会	徳山高 専	4名 3名		★徳山高専 安川電機 宇部高専 徳山大学
2020/3/ 30	16:0 0-16:3 0	第9回共生 人材育成ステ アリング会議	徳山高 専	4名		★徳山高専

資料2:参加機関一覧

参加機関名称	役割	参画開始時期	住所
社会福祉法人太陽の家 (個人3名)	体験実習企画・運営, シンポジ ウム講師, ワークショップ講師	平成 29・30 年度	大分県別府市
株式会社 沖ワークウェル	シンポジウム講師, ワークショ ップ講師, シンポジウム講師 (予定)	平成 29・30・31 年 度	東京都港区
山口県立周南総合支援学 校	ワークショップ企画, ワークショ ップ会場提供, カフェ企画	平成 29・30・31 年 度	山口県周南市
一般社団法人リエンゲージ メント(個人1名)	体験実習講師	平成 29 年度	東京都港区
オムロン京都太陽株式会社	インターンシップ・プログラム開 発・実践, シンポジウム講師, ワークショップ講師	平成 29・30 年度	京都府京都市
オムロン太陽株式会社	インターンシップ・プログラム開 発・実践	平成 29 年度	大分県別府市
ソニー・太陽株式会社	インターンシップ・プログラム開 発・実践, シンポジウム講師, ワークショップ講師, カフェ講師	平成 29・30・31 年 度	大分県速見郡
株式会社サンキュウ・ウイズ	シンポジウム講師, ワークショ ップ講師, カフェ講師	平成 29・31 年度	東京都中央区
科学コーディネータ(個人)	ワークショップ講師	平成 30・31 年度	非公開

日新製鋼株式会社周南製鋼所	ワークショップ発表	平成 30 年度	山口県周南市
徳山積水工業株式会社	ワークショップ発表	平成 30 年度	山口県周南市
保土谷化学工業株式会社	ワークショップ発表	平成 30 年度	山口県周南市
新居浜工業高等専門学校	インターンシップ・プログラム開発	平成 30 年度	愛媛県新居浜市
福井工業高等専門学校	インターンシップ・プログラム開発 シンポジウム主催 シンポジウム講師 特例子会社 PR に関する発表	平成 30 年度	福井県鯖江市
熊本高等専門学校	シンポジウム主催 シンポジウムワークショップ講師 シンポジウム講師	平成 30 年度	熊本県合志市
長野工業高等専門学校	インターンシップ・プログラム開発	平成 30 年度	長野県長野市
北九州工業高等専門学校	インターンシップ・プログラム開発	平成 30 年度	福岡県北九州市
大分工業高等専門学校	インターンシップ・プログラム開発	平成 30 年度	大分県大分市
福井大学(個人)	シンポジウム講師	平成 29 年度	福井県福井市
一般社団法人日本設備管理学会就労支援技術研究会	全般的な活動に対する助言 特例子会社 PR に関する講演 および議論の場の提供 シンポジウム広報・展示	平成 29・30・31 年度	愛知県名古屋市
福井たんぼぼの会(LD 親の会)	シンポジウム講師	平成 29 年度	福井県福井市
出光興産徳山事業所	シンポジウム講師	平成 31 年度	山口県周南市
山口労働局	シンポジウム講師	平成 31 年度	山口県山口市
周南つなぎびとの会	シンポジウム講師	平成 31 年度	山口県周南市
特定非営利活動法人コミュニティ友志会	シンポジウム講師	平成 31 年度	山口県防府市
山口職業リハビリテーション研究会	シンポジウム講師	平成 31 年度	山口県山口市
日東電工ひまわり尾道事業所	シンポジウム講師	平成 31 年度	広島県尾道市
サンアクア TOTO 株式会社	シンポジウム講師	平成 31 年度	福岡県北九州市
ゲートウェイやまぐち	ワークショップ運営	平成 31 年度	山口県防府市
西部島根医療福祉センター(個人)	ワークショップ講師	平成 31 年度	島根県江津市

福岡市立今津特別支援学校(個人)	ワークショップ講師	平成 31 年度	福岡県福岡市
山ねこ工作室	ワークショップ講師	平成 31 年度	茨城県水戸市
株式会社ユニコーン	カフェ講師	平成 31 年度	広島県広島市
徳山大学	ワークショップ・カフェ運営	平成 31 年度	山口県周南市
防府市市民活動推進センター	ワークショップ・カフェ運営	平成 31 年度	山口県防府市
ヘルシンキ大学(個人)	セミナー講師	平成 31 年度	フィンランド・ヘルシンキ
熊本高専(個人)	シンポジウム・ファシリテータ	平成 31 年度	非公開

資料3:委員会等

平成 31 年度の委員会名簿を以下に記す。

氏名	所属		役割	具体的な 実施業務内容
	部門	役職		
三浦靖一郎	機械電気工学科	准教授	実施担当者	実施業務総括
谷本圭司	一般科目	准教授	実施副担当者	実施業務総括副担当
山田健仁	情報電子工学科	校長補佐	実施担当	カフェ担当
大西祥作	機械電気工学科	教授	実施担当	カフェ・ワークショップ担当
桜本逸男	機械電気工学科	学科主任	実施担当	ワークショップ担当
目山直樹	土木建築工学科	准教授	実施担当	カフェ・ワークショップ担当
藤本浩	機械電気工学科	准教授	実施担当	カフェ・ワークショップ担当
小田清治	総務課	課長	事務担当	実施業務事務担当

資料4:外部評価委員

平成 31 年度の外部評価委員名簿(予定)を以下に記す。

氏名	所属	
	団体	役職
羽瀧由子	徳山大学	教授
浅原京子	宇部工業高等専門学校	教授
大野充孝	安川電機株式会社	

## 資料5:外部発表等

(1)論文発表 (国内0件、海外0件)

(2)口頭発表

①招待、口頭講演 (国内11件、海外2件)

- ・三浦靖一郎(徳山高専・准教授)・奥武あかね(社会福祉法人太陽の家)・小越咲子(福井高専・准教授)・小越康宏(福井大学・准教授), 特例子会社の魅力とその訪問者数の考察, 日本福祉工学会九州支部大会, 北九州国際展示場, 2017年11月18日
- ・前田勝紀(福井高専・本科4年生)・小松貴大(福井高専・助教)・小越咲子(福井高専・准教授)・三浦靖一郎(徳山高専・准教授), 特例子会社でのバリアフリーデザイン体験を通して学んだこと, 北九州国際展示場, 2017年11月18日
- ・Seiichiro Miura (NIT Tokuyama), Sakiko Ogoshi (NIT Fukui), Hitoshi Nishi (NIT Fukui), Yasuhiro Ogoshi (U Fukui), Promotion of the human resources ecosystem of inclusive society for engineers, Proceedings of the Asia Pacific Industrial Engineering & Management Systems Conference 2017, Indonesia
- ・三浦靖一郎(徳山高専・准教授), 特例子会社から学ぶインクルーシブデザイン・マインド, 福祉情報技術コーディネーターテキストに学ぶATの実践スキルセミナーin 明石高専, 明石高専, 2017年9月3日
- ・三浦靖一郎(徳山高専・准教授), 特例子会社から学ぶ自分発イノベーション, 未来展 2017 オープンイノベーションカンファレンス・ワークショップ「テーマ:モノづくり全般」(中部産業連盟・中日新聞社), 名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール, 2017年8月30日
- ・三浦靖一郎(徳山高専・准教授), 共生社会と技術者の役割, 放送大学福井学習センター平成29年度公開講演会, 放送大学福井学習センター, 2017年9月3日
- ・山中康弘(一般社団法人日本設備管理学会就労支援技術研究会, バリアフリーオフィス代表), 障害者が仕事をしていくためには, TKP 新橋カンファレンスセンターミーティングルーム 2B, 2017年10月1日
- ・三浦靖一郎(徳山高専・准教授), もし高専がインクルーシブデザインを取り入れ世界に広めたら, 福祉情報技術コーディネーターテキストに学ぶATの実践スキルセミナーin 長野高専, 長野高専, 2017年11月11日
- ・三浦靖一郎(徳山高専), 「そうだ, 特例子会社に行こう! ~気づき・気持ちから生まれる就労支援や支援技術」, なんとカンファレンス 2018(主催:なんとカンファレンス実行委員会), 畿央大学(2018年8月26日)
- ・三浦靖一郎(徳山高専), 「なぜ高専が多様性と共生を考えるのか? ~「働く」をキーワードとした地域のハブとしての高専へ~」, ATの実践スキルに学ぶ共生社会シンポジウム(主催:熊本高等専門学校, 後援:(一社)日本支援技術協会, (一社)日本福祉工学会九州支部), 熊本高専熊本キャンパス(2018年12月8日)
- ・三浦靖一郎(徳山高専, 准教授), 谷本圭司(徳山高専, 准教授), 大西祥作(徳山高専, 教授), 共生社会の実現に向けた地域活動モデルの提案と実践, 佐世保高専, 2019年10月19日
- ・三浦靖一郎(徳山高専, 准教授), 谷本圭司(徳山高専, 准教授), 「福祉と科学技術の今と未来~重度障害者の就労からみた山口県立周南総合支援学校と徳山工業高等専門学校の連携の取組」, 山口障害者職業リハビリテーション研究会, サンフレッシュ山口, 2019年12月22日
- ・Seiichiro Miura (NIT Tokuyama), Keiji Tanimoto (NIT Tokuyama), Trial on Orientation Education used by Electric Blocks for AT Engineers Supporting Inclusive Society, 7th ACIS International Conference on Applied Computing & Information Technology 2019, Honolulu

②ポスター発表 (国内0件、海外0件)

③プレス発表

(3)受賞・報道等

①受賞 日本福祉工学会九州支部大会 2017 論文講演優秀賞

②報道等

(新聞7件, テレビ1件, ラジオ0件, 雑誌1件, その他0件)

③その他2件

- ・三浦靖一郎, 「社会資源を活用した, 共生社会を支える人材エコシステムの取り組み」, 地域経済エコシステムの形成について」の座談会(主催:財務省大臣官房地方課), 財務省本省 4F 講堂(2018年11月30日)
- ・シティーケーブル周南取材(2018年12月13日ワークショップ 1-2)

## 資料6:成果資料等

・「みんなでつくる共生社会シンポジウム講演資料集」A4版 118ページ

・「共生人材育成エコシステムの構築」リーフレット A4版 4ページ

・「みんなでつくる共生社会シンポジウム講演資料集 2」A4 版 118 ページ

資料7:その他資料